

ナノテクノロジーの今後の取り組み
ー検討の進め方についてー
(案)

平成 16 年 5 月 13 日

平成 16 年 5 月 13 日

ナノテクノロジーの今後の取り組み

- 検討の進め方について-(案)

事務局

1. 検討の趣旨

- ・ 科学技術基本計画は平成 17 年度をもって第2期が完了を迎え、今後、第3期科学技術基本計画の策定に向けて、重点各分野の取り扱いを含めて検討が開始される。
- ・ 第2期基本計画では、ナノテクノロジー分野は4つの重点分野の1つに位置づけられ、取り組み施策の質的量的充実性においても、予算面においても重点的取り組みを推進しているが、基本計画策定時と比較すると、ナノテクの研究開発自体の進展や実用化事例の増加、ナノテクを取り巻く社会環境の変化など、様々な面で変遷しつつある。
- ・ また、米国は、ナノテクノロジーを国家の重要科学技術政策ととらえ、NNI(ナショナルナノテクノロジーイニシャチブ)立法化をはじめとする取組強化を図っており、世界各国もまたナノテク取り組みを強化する方向にある。このような国際情勢に伍して我が国は引き続き国際競争力を堅持していくために、今後もナノテクノロジーの研究開発力を維持、強化していくことが必要である。
- ・ 特に第2期基本計画においては、研究成果の事業化・産業化進展など出口に軸足を置いた方針で取り組みが進められてきた傾向があるが、10～20 年先までを視野に入れて、技術の国際競争力を維持し続けるためには、基礎的基盤的研究にも重点をおくことが必要である。
- ・ また、今後ますますナノテクノロジーとIT、バイオとの融合等、他の重点分野との融合化が図られ、ナノテクノロジーの取り組み方針策定には多様な分野からの意見を踏まえていくことが必要である。

2. 取り組みの進め方

2.1 ナノテクワーキンググループ(仮称)の設置

- ・ 今後のナノテクノロジーの取り組みについて議論し方向付けをしてい

くための作業を行う、ワーキンググループを設置する。

- ・ 設置期間は目的とする活動が終了するまでとするが、科学技術基本計画策定に向けた総合科学技術会議全体としての取り組みがより具体化した際には、全体の方針に合致するよう、活動のあり方などについて必要な変更を加えるよう考慮する。

2.2 ワーキンググループの活動

- ・ 早期にメンバー選考に着手し、定期的会合を開催して活動を推進する。
- ・ 概略のスケジュールとしては、当面の目標時期として本年末を目途に取り組み内容や位置づけ、方向性についておおまかな方針を立てる。
- ・ 活動状況については、NTPTで適宜報告する。

2.3 ワーキンググループメンバー

- ・ ワーキンググループメンバーについては、分野融合性に配慮し、様々な専門分野から、大学、独立行政法人等の研究者を主体に、産業界メンバーも含めて全体のバランスに配慮して選出する。

以上